

6

注射部位を軽くおさえます。



- ① 注射部位をアルコール綿などで軽くおさえます。
- ② アルコール綿などをはずして、注射部位から血が出ていないことを確認して、注射は終了です。

腫れることがありますので、注射部位はもまないでください。

7

使用済みのオートインジェクターを廃棄容器または袋に廃棄します。



- オートインジェクターは1回ごとの使い捨てです。使用後は再度使用せずに、医療機関の指示に従って捨ててください。
- オートインジェクターを分解しないでください。

使用済みのオートインジェクターは医療廃棄物です。絶対に自分で廃棄せず、医療機関の指示に従い、取扱いには十分注意してください。

お子様が触れないように注意してください。

パソコン、携帯電話からベンリスタに関する情報をご覧ください。

<http://kusurigsk.jp/BL/>

二次元コードが読み取れない場合は、上記URLを直接ご入力ください。



投与方法は動画でも見るができます

<https://kusurigsk.jp/movie/bl.html?i=bl>



ベンリスタの使い方のお問い合わせは、

カスタマー・ケア・センター

TEL:0120-561-305

(9:00~17:45 / 土日祝日および当社休業日を除く)

または、医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

本製品は5歳以上のSLE患者さんがご使用いただけます。
5歳以上10歳未満の小児患者さんには保護者の方が投与してください。

注射を始める前に……



- 机を拭きましょう
- 手をせっけんで洗いましょう
- アルコール綿・廃棄容器を準備しましょう
(製品の箱には入っておりません
治療をしている病院や薬局で入手してください)



[保管に関する注意]

- 冷蔵庫に入れて保存してください(冷凍しないでください)。
- 外箱に入れたまま光が当たらないように保存してください。
- お子様の手の届かないところに保管してください。

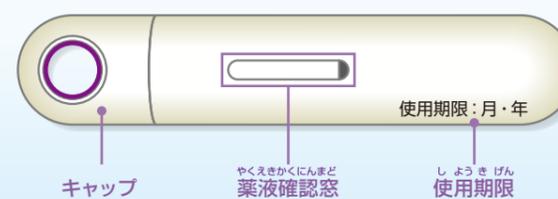
[取扱いに関する注意]

- オートインジェクターを振らないでください。
- 硬い場所に落とした場合は使用しないでください。

1

明るくて清潔な場所に以下のものを用意します。

[オートインジェクター]



※オートインジェクターのキャップは注射の直前まではずさないでください。

[アルコール綿]

[廃棄容器または袋]



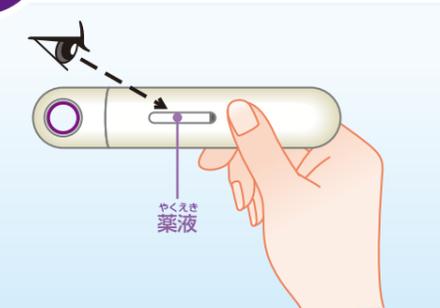
※アルコール過敏症の方は、アルコール綿は使用せず、医療機関から提供された代替消毒薬を使用してください。

- オートインジェクターは、冷蔵庫から取り出し、常温(手で触って冷たくない温度)になるまで**30分間**待ちます。*常温に戻すことで注射部位の痛みや不快感がやわらぐことがあります。

- ⚠ オートインジェクターを電子レンジ、熱湯などで温めたり、直射日光の当たるところに放置したりしないでください。
- ⚠ 12時間以上常温に放置された場合は使用しないでください。
- ⚠ 使用期限を過ぎている場合は、使用しないでください。

2

薬液を確認します。



- 薬液確認窓を目で見えて、未使用の製品であることを確認します(薬液確認窓から薬液が見えず、紫色の確認バーが見えるものは一度使用した製品です)。

確認バー

⚠ 薬液に濁りや粒子がみられる場合は、使用しないでください(薬液が透明またはやや黄色みがかっている、いくつか気泡が入っているのは正常です)。

3

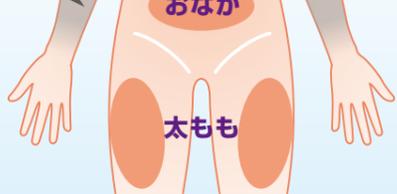
注射部位を選び、消毒します。

※担当医と相談のうえ、注射部位を決めておきましょう。

【注射部位】

腕には注射しないでください。

おへそから約5cm以内は避ける。



やせている方で、太ももの皮下脂肪が著しく少ない場合は太ももではなくおなかへ注射してください。

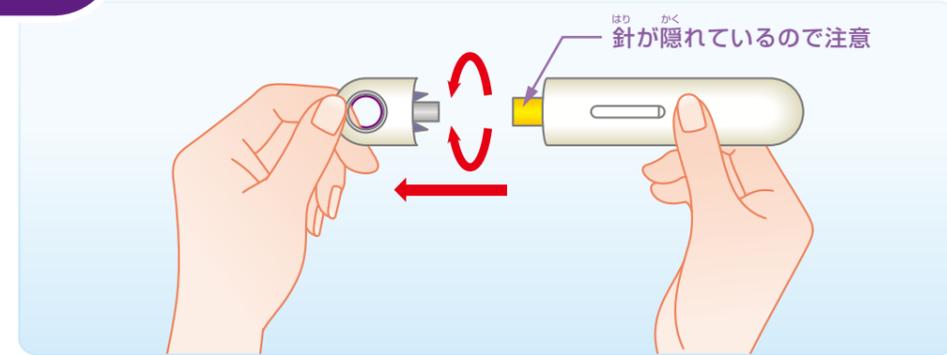


- ①注射する部位は「おなか」または「太もも」です。
- ②注射部位を選び、アルコール綿で拭いて消毒します。

- ⚠️ 前回と同じ箇所への注射はなるべく避けてください。
- ⚠️ 皮膚が赤い、傷がある、硬くなっている部位には、注射しないでください。
- ⚠️ 消毒した部位は、再度手が触れないよう注意してください。

4

キャップをはずします。

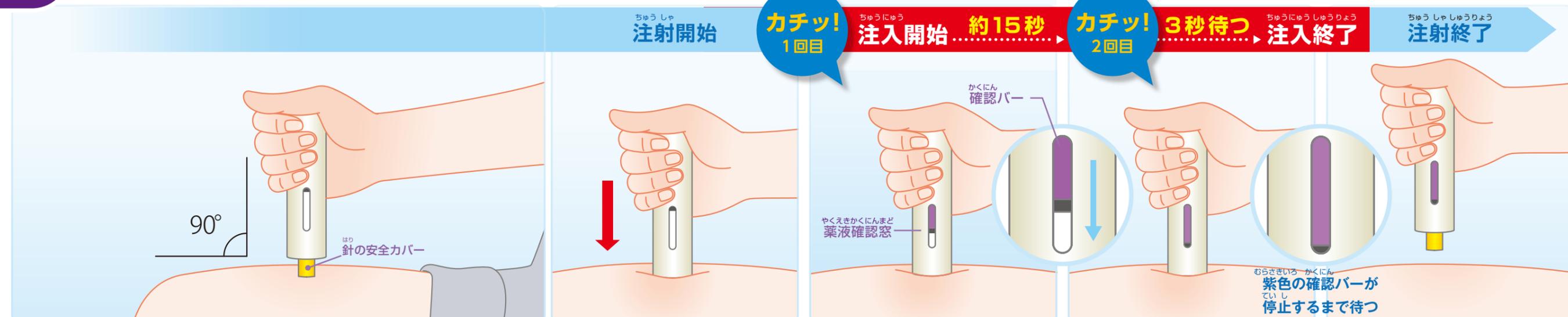


●キャップをひっぱるか、ねじってはずします。

- ⚠️ 注射の直前までキャップをはずさないでください。
- ⚠️ 一度はずしたキャップは本体に戻さないでください。

5

注射部位にオートインジェクターを押し当て、確認バーの動きが止まるまでそのまま待ちます。



注射開始

カチッ! 1回目

注入開始 約15秒

カチッ! 2回目

3秒待つ 注入終了

注射終了

- ①薬液確認窓が見えるようにオートインジェクターを持ち、注射部位に対して90°の角度になるよう黄色い安全カバーを軽く当てます。

おなかへの注射のしかた



つまんだ皮膚に対して、90°の角度で押し当てます。つまむ際はつまんだ指に針が刺さらないようご注意ください。



つまんだ皮膚に対して、真上から押し当てないでください。
・適切な部位に薬液が入らないおそれがあります。
・また、皮膚を貫通して、指などへの針刺しの原因となります。

- ②注射部位にオートインジェクターの黄色い安全カバーが見えなくなるまで深く押し当てます。

- ③カチッと音がして、薬液の注入が始まると、薬液確認窓の中を紫色の確認バーが動き始めます。

- ④2回目のカチッという音から3秒後に紫色の確認バーの動きが止まります。

- ⑤確認バーの動きが止まったことを確認してから、オートインジェクターを注射部位から離します。

- ⚠️ おなかに注射する場合は、皮膚を軽くつまんで90°の角度に押し当ててください。

- ⚠️ 少しチクッとしますが、薬液の注入が終わるまでオートインジェクターを押し当てたまま、注射部位から絶対に離さないでください。「カチッ」という音が聞こえにくい場合がありますが、確認バーが動いていれば薬液注入が開始されています。確認バーの動きが止まるまでは薬液の注入が続いているため、そのまま押し当て続け、手を離さないでください。

- ⚠️ 紫色の確認バーの動きが止まったことを確認するまで、オートインジェクターを絶対に離さないでください。
- ⚠️ 使用後は針が出ないようにロックがかかります。